学校番号	311

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	4/4 単位	年次	3 年次
使用教科書	家庭総合（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・生活に関する知識や技術を身につける一方で、それらのもつ意味や在り方を人の一生との関わりの中で考えていきます。
・生活者としての立場から実際の生活を見つめ、課題を発見し、改善していけるような実践的な力を養うことを目的としています。
・「自分らしいライフスタイル」を探求し、より主体的に人生を送っていけるよう学習に取り組んでください。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、経済生活、消費生活、衣生活、食生活に関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	食生活をつくる	○食生活をつくる ・人と食物のかかわり ・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食事の計画と調理 ・これからの食生活を考える	a:食事の意義や役割について、食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 b:栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりにむけての判断ができる。 調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 c:食文化や自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
2学期	子どもとかかわる	○子どもとかかわる ・子どもとは ・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子どもをはぐくむ ・子どものための社会福祉	a:子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけ、生命の尊さ、子育ての意義について、理解することができる。 b:子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援政策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 c:子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

	高齢者とかかわる	○高齢期とかかわる ・高齢社会に生きる ・高齢者を知る ・高齢者の自立を支える ・高齢社会を支えるしくみ	a:高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。基本的な日常生活の介助の方法について理解している。高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。 b:高齢社会の課題やその解決に向けて、情報収集し、まとめることができる。 c:高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知とうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	社会とかかわる	○社会とかかわる ・支えあって生きる ・共生社会を生きる	a:社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。 b:社会福祉や生涯を通しての社会福祉・社会保障制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 c:生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
3学期	災害に備える	○災害に備える ・日本で起こる自然災害 ・災害と地震後の生活 ・ライフラインの停止と対応 ・ハザードマップ調べ	a:自然災害や災害時の対応、災害への備えについて理解している。 b:災害時の対応や災害への備えについて、情報を収集・整理し、自分自身の生活スタイルに合わせた備えを考えることができる。また、社会の一員として何ができるか考えることができる。 c:自然災害や災害への備えについて関心をもち、家庭や地域の一員として主体的に行動しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度